

平成31年4月25日
京都市建設局
〔担当 みどり政策推進室〕
〔電話 741-8600〕



今年は、本市推薦の
2団体が受賞！

第30回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰 ～「新京都駅頭会(下京区)」と「名神深草森の会(伏見区)」が受賞！～

この度、京都市が推薦した「新京都駅頭会」と「名神深草森の会」の緑化の推進に関する取組等の功績が認められ、第30回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞されますので、お知らせします。

なお、表彰式は5月18日に鳥取県立布施総合運動公園にて実施されますので、併せてお知らせします。

1 受賞団体

(1) 新京都駅頭会(下京区)

- ・受賞内容 京都の玄関口である塩小路通の植樹帯に、年2回、春と秋に600株の花を植え、水やりや清掃活動を行い、観光客をはじめ、訪れる方々に安らぎを与える場所づくり等の緑化推進活動
- ・活動期間 平成14年 ～ 現在も活動中
- ・受賞歴 平成23年度京都市都市緑化推進功労者表彰受賞(京都市長表彰)
平成26年京都市市民憲章推進者表彰



(2) 名神深草森の会(伏見区)

- ・受賞内容 名神高速道路の法面に木を植え、森を作る活動や、市民の方々と一緒に植樹する植樹祭「都の森づくりプロジェクト」の開催などの緑化推進活動
- ・活動期間 平成19年 ～ 現在も活動中
- ・受賞歴 平成23年度京都市都市緑化推進功労者表彰受賞(京都市長表彰)



2 表彰式

- (1) 日 時 令和元年5月18日(土) 午前9時～正午頃
- (2) 場 所 鳥取県立布施総合運動公園(鳥取県鳥取市)
- (3) そ の 他 表彰式は、「第30回全国『みどりの愛護』のつどい」の式典において実施されます。

3 受賞団体について

・新京都駅頭会

新京都駅頭会は、元々京都駅前の商店街を中心に、不法駐輪対策として花壇コンテナを設置するなどの活動を行っておられました。新京都駅頭会としては平成14年から活動を開始し、現在25社、30名の会員が活動されています。

主な緑化活動としては、京都駅前の塩小路通の植樹帯に年2回、春と秋に600株の花を植え育て、水やりや清掃活動等を行っておられます。京都の玄関口であるこの場所を、観光客をはじめ、訪れる方々に安らぎを与えられる場所となるよう、日々取り組んでおられます。

・名神深草森の会

名神深草森の会は平成19年に発足し、現在13名の会員が、様々な緑化活動を進めておられます。

主な緑化活動としては、名神高速道路の法面に様々な木を植え、森を作る取組のほか、周辺の里山と同じような樹木を、子どもを含む市民の方々と一緒に植樹する「都の森づくりプロジェクト」という植樹祭を開催され、これまでに低木や高木を合わせて510本植樹されました。また、一般の方も参加できる自然観察会や、子ども向けの工作教室も年に2回程度開催されており、多くの方々に楽しんでもいただける取組を実施されています。

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰について

「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえ、国際花と緑の博覧会開催の理念を将来へ継承し、緑を守り育てる国民運動を更に積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対して、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰が行われるものです。